

## 平成14年度の環境研究イニシアティブの活動について

分野別推進戦略において、次の5つのイニシアティブが設定された。

地球温暖化研究  
ゴミゼロ型・資源循環型技術研究  
自然共生型流域圏・都市再生技術研究  
化学物質リスク総合管理技術研究  
地球規模水循環変動研究

この内、 から の3つの重点課題に関しては、平成14年度の政府の予算編成にあたり、「平成14年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針」(平成13年7月総合科学技術会議決定)において、平成14年度より重点的に取り組むこととされ、同年より本格的なイニシアティブ活動を開始した。各イニシアティブには、各省によりそれぞれのイニシアティブの各プログラムに位置付けられると判断された研究施策が登録された。

各イニシアティブの下、環境担当議員、並びにイニシアティブに登録されたプロジェクト担当研究者間での情報交換、意見交換の場として、イニシアティブ研究会合を年3回開催することとした。総合科学技術会議専門委員がイニシアティブ研究会合座長を務めた。

環境担当議員は、各イニシアティブ研究会合に出席し、そこで得た各重点課題の最新動向や関係府省における施策の取組・連携状況、不必要な重複及び実施中の施策の効果等についての情報を、「平成15年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針」(平成14年6月総合科学技術会議決定)の策定や平成15年度予算概算要求に係る優先順位付けに反映させた。イニシアティブ研究会合の実施状況は以下の通り。

- (1) 地球温暖化研究イニシアティブ会合(14年4月、11月、15年4月)
- ・気候変動研究分野(座長：市川惇信専門委員) 課題数：54
  - ・対策技術開発分野(座長：茅陽一専門委員) 課題数：106

この他、気候変動研究分野においては、実施段階でのイニシアティブの運営を目的として、座長と外部有識者・専門家による研究運営会議が毎月1回程度開催された。さらに、研究担当者レベルの会合であるプログラム会合が延べ4回開催された。

- (2) ゴミゼロ型・資源循環型技術研究イニシアティブ会合(14年4月、10月、15年3月)
- (座長：秋元勇巳専門委員) 課題数：29

この他、各省の研究施策の重複や、重要にもかかわらず取組みの遅れている分野を明確にするために研究施策マップの作成を進めるなど、研究担当者レベルのタスクフォース会合を随時開催した。

(3) 自然共生型流域圏・都市再生技術研究イニシャティブ会合(14年4月、12月、15年3月)

(座長：丹保憲仁専門委員) 課題数：18

この他、流域圏・都市再生に関する情報共有化システムの構築とモデル流域圏(東京湾・利根川流域圏)に関する研究情報の収集・整理を目的として、自然共生・研究情報タスクフォースを6回開催し、研究施策マップの作成を行ってきた。また、イニシャティブの研究開発シナリオの明確化をねらいとした議論を重ねてきた。当該分野の最新動向を把握することを目的として、専門家を招聘しての勉強会を3回開催した。